

# 地域別 市政フォーラムの結果を報告します

## その1 佐田・多伎 湖陵・大社 地域

住民の皆さんの意見を今後のまちづくりを生かすために開催している『市政フォーラム』。今回は、7月12日から8月9日にかけて実施した佐田・多伎・湖陵・大社地域で出された意見・提案の一部を紹介します。

10・11月に開催する出雲・平田地域については、後日報告します（日程は広報60号5ページまたは市ホームページをご覧ください）。



佐田・多伎・湖陵・大社の4地域10会場で開催した市政フォーラムには、736人の参加がありました（写真は田儀地区市政フォーラム 8月9日）

### 佐田地域

- Q 防災行政無線の整備**  
老朽化の進む防災行政無線への対応は。  
A 出雲市全体では、いまだに緊急告知放送の未整備地域があり、その地域の整備に努めているところです。佐田地域においては、防災行政無線を補修しながら使用するとともに、情報いずも、ケーブルテレビ、振興協議会の連絡網など2重3重の伝達方法によって防災情報を伝える考えです。
- Q 保育所の民営化について**  
保育所の民営化が議論されているが、保育水準が悪くなったり、保護者の負担が増大したりするのではないかと懸念されている。  
A 出雲市には42園の認可保育所があり、5園が公立、37園が私立です。認可保育所は国の一定の基準を満たしており、保育水準に大きな違いはありません。また入所決定や保育料の算定・徴収等は、同じルールの中で市が行っていますので、民営化によって、公立が私立になっても、保育料が変わることはありません。

も、保育料が変わることはありません。

### 多伎地域

- Q 佐田中学校の建設について**  
佐田中学校の具体的な建設計画はどうなっているのか。  
A 老朽化が進む佐田中学校の整備については、今後、市全体の財政計画との整合性を図り、平成21年度から事業着手する考えです。
- Q 才谷トンネル経由のバス路線について**  
JR江南駅から通学する高校生が増えたことから才谷トンネル経由のバス路線を新設することはできないか。  
A 出雲市公共交通システム検討委員会からの答申もありましたが、市では須佐線を基幹ルートとしてバス路線の維持に努めています。才谷トンネル経由のバス路線については、利用者数や採算性などを検討しなくてはいいないと考えています。



昭和37年建築の佐田中学校

- Q 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡について**  
平成18年1月に国史跡に指定された田儀櫻井家たたら製鉄遺跡の整備方針について知りたい。  
A 平成18年度は金屋子神社の石段を修復しました。秋からは今年度中の完成を目指し、智光院と金屋子神社の本堂の完全修復工事に入ります。
- Q 支所の今後について**  
多伎地域の重要な拠点である支所の今後のあり方について基本的な考えは。  
A 住民生活に身近なサービスは、支所の機能と



宮本大鍛冶場跡

- Q 支所の今後について**  
多伎地域の重要な拠点である支所の今後のあり方について基本的な考えは。  
A 住民生活に身近なサービスは、支所の機能と

### 大社地域

- Q (仮称) 出雲水産交流プラザの建設について**  
(仮称)水産交流プラザ建設の整備計画を教えてください。  
A 当初は、県営大社漁港の中に、産地市場とお魚センターやレストランなどがある交流施設を一体的に整備する方針でした。しかし、漁港敷地が狭いことや景観上の問題などから、産地市場は漁港敷地内に建設し、交流施設はきつき海浜公園敷地を候補に整備を検討することにしました。産地市場は平成21年度の完成を予定しています。交流施設の具体的な整備については引き続き関係者と検討を進めていきます。



日御碕でのシーカヤック

- Q 温泉の活用について**  
平成17年に大社で湧出した温泉の整備方針は。  
A 現在、温泉スタンドの設計作業を進めているところで、旅館用と市民用の2基のスタンドを設置する方向で検討しています。
- Q 漁業後継者の育成について**  
漁業後継者が不足し、減少の一途をたどっている。これからは漁業の経験がない人でも、地区で受け入れて後継者を育てていかなくてはならないと思うが、行政に協力してもらうことはできないか。  
A 県（事業主体・JFしまね）で漁業漁村体験研修や漁労技術習得研修など

### 湖陵地域

- Q JR江南駅舎改修と交通機関について**  
老朽化している駅舎の改修をお願いしたい。また、9月末でバス路線の大田今市線が廃止になる。福祉バスの対象者の拡大や運行コースの見直しはできないか。  
A JR江南駅舎の改修については、行政の事務の効率化、職員数の削減が求められており、新庁舎の完成にあわせ、本庁・支所の大規模な組織・機能の見直しを行う考えです。



JR江南駅

- Q 中学校の部活動に対する市の補助について**  
市の補助が3年後にはなくなるという。部活動にかかる経費負担が大きく、補助の継続を望むが、市の考えは。  
A 河南部（佐田・多伎・湖陵）の3中学校以外には、部活動に対する補助金はありません。合併して2年が経過し、市内の学校間の平準化を図るため、3か年かけて段階的に減額し、平成21年度に廃止する方針です。
- Q 市民活動の活性化に向けた支援アドバイザーの設置について**  
市民団体の会合などに出席し、指導・助言できる高い能力を有する市職員をアドバイザーとして派遣してほしい。  
A 分野ごとに職員は異なりますが、市に要望してください。出雲市総合ボランティアセンターでも、登録者の紹介をしています。

- Q 日御碕の海を生かした観光客の誘致について**  
宿泊施設のほかに、シーカヤックやヨットなど自らが参加できるメニューで滞在型の観光客の誘致を図れないか。  
A 眺らん荘の跡地利用については、検討会を立ち上げて、宿泊施設の建設などについて協議を進めています。

- Q 温泉の活用について**  
平成17年に大社で湧出した温泉の整備方針は。  
A 現在、温泉スタンドの設計作業を進めているところで、旅館用と市民用の2基のスタンドを設置する方向で検討しています。
- Q 漁業後継者の育成について**  
漁業後継者が不足し、減少の一途をたどっている。これからは漁業の経験がない人でも、地区で受け入れて後継者を育てていかなくてはならないと思うが、行政に協力してもらうことはできないか。  
A 県（事業主体・JFしまね）で漁業漁村体験研修や漁労技術習得研修など



神迎えの道

- Q 神迎えの道の整備について**  
道路を歩く観光客が増えてきたが、狭い上に電柱があつて通りづらいので改善を。  
A 神迎えの道は、神迎祭りが執り行われる歴史と文化の漂う道です。今年度の設計を行う予定です。また安全確保のため、道路内の電柱を民地内に移設する方法について地元の協力を得ながら検討していきます。